SEMINAR TIME SCHEDULE

3.MARCH AM (10：00～12:00)	4.MARCH AM (10：00～12:00)
1 講師紹介と挨拶 河上先輩（今里先生の名代）、石川の順に **2 2017剣道伝達講習会の中から（資料）** A 指導目的 B 実技の指導目的 a 初心者 b 初級者 c 中級者 ※ 以下の内容も続いて説明 **3 日本剣道形（資料）** 約105年前に制定、剣道実技の原点である＜日本剣道形＞の**資料**に沿って説明 ・下座で２人組となり開始 ・「座礼」～跪座跪踞の要領を説明 ・太刀・小太刀～置き方、持ち方 ・立礼～上座・上席と相互の礼 ・五行の構え（それぞれ説明） ・太刀の形（一本目～五本目まで） ※ その都度説明を加えながら進める **4 面ひもと胴ひもの正しい結び方（資料）**	**1 日本剣道形（資料）** ・下座で２人組となり前日と同じ要領で行う ・「座礼」～跪座跪踞の正しいやり方の履修 ・太刀・小太刀～置き方、持ち方が正しいか ・立礼～上座・上席（30）と相互の礼（15） ・五行の構え（再度説明） ・太刀の形（六、七本目） ・小太刀の形（小太刀三本目まで） ※ その都度説明を加えながら進める **2**（※終われば）**受講生による演武** 三組ずつ、入場から座礼を行った後、最後まで日本剣道形を行い、最後の座礼まで行う **3 日本剣道形の演武 （講評込み10分）** 打太刀 教師八段 石川（日本代表） 仕太刀 教師七段 清水（ドイツ代表） **4 午後からの稽古に関する質疑・応答・要望**
Lunchtime (12:00～13:00) PM13:00～	Lunchtime (12:00～13:00) PM13:00～
1 準備運動 2 素振り～上下（斜め）振りと空間打突 3 基本稽古～面を着けて実技稽古 **a 切り返し**（「打ち返し」と「引き出し」） **b 仕掛け技** **・ 基本技稽古法の応用－面打ち** ・ 正面打ち（大きく・小さく） ・ 小手打ち ・ 胴打ち ・ 連続技～小手－面 小手－面－面（胴） **・ 突き技（近間、そして、一足一刀の間から）** **c 応じ技** ・ 面に対する応じ（※積極的な打突） 面－出頭面（出頭小手） 面－抜き胴（返し胴） 面－返し面（切り落とし面） ・ 小手に対する応じ（※積極的な打突） 小手－相打ち面（すり上げ、返し） ※ 以上３種類を１本づつ連続に行う **d 基本技稽古法の応用で連続打ち込み稽古** 面⇒小手・面⇒返し胴⇒面体当たり引き面⇒面体当たり引き胴⇒払い面 【休憩の後】※水分補給 4 地稽古～（※最後は、全員で跳躍素振り）	1 準備運動 2 素振り～上下（斜め）振りと空間打突 3 基本稽古～面を着けて実技稽古 **a 切り返し**（「打ち返し」と「引き出し」） **b 仕掛け技** **・ 基本技稽古法の応用－面打ち** ・ 正面打ち（大きく・小さく） ・ 小手打ち ・ 胴打ち ・ 連続技～小手－面 小手－面－面（胴） **・ 突き技（近間、そして、一足一刀の間から）** **c 応じ技** ・ 面に対する応じ（※積極的な打突） 面－出頭面（出頭小手） 面－抜き胴（返し胴） 面－返し面（切り落とし面） ・ 小手に対する応じ（※積極的な打突） 小手－相打ち面（すり上げ、返し） ※ 以上３種類を１本づつ連続に行う **d 基本技稽古法の応用で連続打ち込み稽古** 面⇒小手・面⇒返し胴⇒面体当たり引き面⇒面体当たり引き胴⇒払い面 【休憩の後】※水分補給 4 地稽古～（※最後は、全員で跳躍素振り）